

『3.11を忘れない』

東日本大震災・福島第一原発事故から12年 知ること・できることは何？

かつて福島の被災地を訪れたとき地元の方に言われた言葉は重い
—『首都圏の電気は福島から送電している』—
被災地の問題を置き去りに、つぎつぎ原発再稼働が進むいま
忘れてはいけないことを自分事として考えてみませんか・・・

処理汚染水の海洋放出

福島第一原発からの処理汚染水の海洋放出を今年春夏頃から政府は行おうとしている
福島県内41市町村議会が汚染水放出に反対・慎重の意見書や決議をしている(2020.10現在)
福島県漁業関係者は“風評被害”を恐れて断固反対を表明
たらちねは海洋放出前の海水のデータが重要として測定

故郷に帰れない避難民

原発事故によって豊かな故郷の自然を汚され、今なお全国各地で避難生活を続けている人々
コロナ禍の中で避難先の住宅から立ち退きを迫る福島県。その一方で高濃度汚染地域への帰還促進の流れもあり不安を払しょくして戻ることを選んだ人たちもいる。

原発再稼働

政府は次世代原発の開発・建設を進めるほか
既存原発の60年超の運転を認める。
2011年の原発事故以来、原発の新增設や建て替えを「想定していない」としていた方針を転換